

厳しい治安情勢等に的確に対応するための基盤整備について

【警察庁】

提案・要望の内容

厳しい治安情勢等に的確に対応するため、次の措置を講ずること。

- 1 ヘリテレ映像中継所を設置し、危機管理態勢を整備すること
- 2 自動車ナンバー自動読取装置を整備すること
- 3 中山間地域の治安対策を強化するため、駐在所への警ら用車両の配備を充実すること
- 4 沿岸、湖沼域での水上警察活動を強化するため、警察用船舶を更新整備すること

【現状と課題】

- 地勢及び重要警戒施設の状況等
 - ・ 県土が東西に長く、また、離島である隠岐諸島を有する。
 - ・ 県庁所在地である松江市に島根原子力発電所が立地している。他の重要施設として、外国船籍の船舶が頻繁に入港する浜田港や県内3か所の空港を有する。
- 犯罪情勢等
 - ・ 刑法犯認知件数は減少傾向にある中で、山陰自動車道の延伸等、道路網の整備等を背景として、自動車を使用し、県をまたいでヒットアンドアウェイ型犯罪も多発しており、これらの犯罪に対する的確な対応が重要となっている。
- 中山間地域の治安対策
 - ・ 県土の83%、県内人口の47%を占める中山間地域では、急激な人口減少や高齢化の進行により、地域が維持してきた防犯機能の低下が治安維持に影響を及ぼすことが懸念される。
 - ・ 中山間地域の駐在所は広範囲に点在居住する地域住民を対象に活動する必要がある。
- 沿岸・湖沼域における機動力の必要性
 - ・ 中海・宍道湖を中心に、水難救助、捜索活動、シジミの密漁取締り、狩猟取締り、湖上花火大会等の雑踏警備を実施する必要がある。
 - ・ 島根原子力発電所警備を始めとしたテロ対策、航空機事故等の初動対応のための機動力の確保が必要となる。

【本県の取組状況・方針】

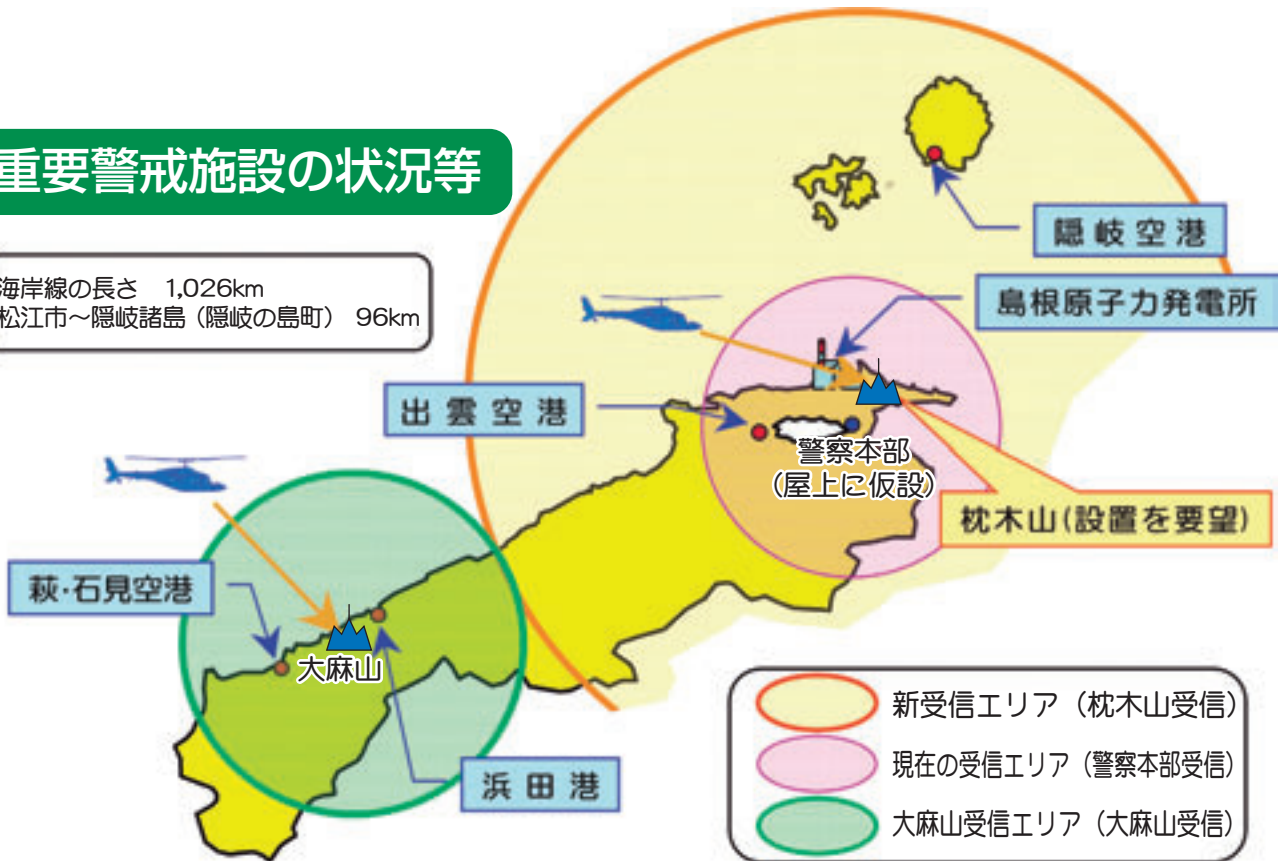
- 県内の東西2か所にヘリテレ中継所を設置しているが、県東部については警察本部庁舎に仮設しての運用である。受信可能エリアが狭く、隠岐諸島が不感地帯となっている状況を解消する必要がある。
- 主要国道、高速道路、県境を対象とした自動車ナンバー自動読取システムを設置し、これを補完する形で、県においても、初動警察活動支援システムを整備している。
- 中山間地域の駐在所(138か所)への警ら用車両配備率は63.8%で、増強配置を計画中である。
- 平成元年配備の現有船舶は、エンジンが老朽化しており、この度、応急措置としてエンジンの載せ替えを行ったが、船体の老朽化も著しく、再三の修理等により活動に支障が生じている。

【提案要望の効果】

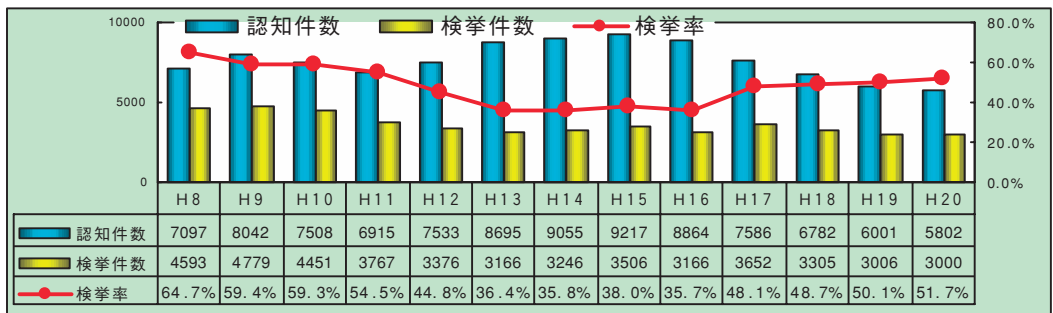
- ヘリテレ映像中継所が島根半島枕木山に設置されることで、隠岐島付近等の映像がリアルタイムに受信できるようになり、災害や有事の際の情報収集分析能力が一層強化される。
- ヒットアンドアウェイ型を含め、自動車等を使用した犯罪の一層の検挙向上が期待できる。
- 168か所ある駐在所施設のうち、107か所しか整備されていない小型警ら車を更に配備することで、冬季や山間地での機動力が確保され、地域住民からの要請に迅速に対応できる。
- 迅速な事案対応、積極的かつ年間を通じた、湖沼域での水上警察活動を強化することができる。

重要警戒施設の状況等

海岸線の長さ 1,026km
 松江市～隠岐諸島（隠岐の島町） 96km



犯罪情勢



中山間地域の現状等

- ◇ 島根県の「中山間地域」の定義
 産業の振興、就労機会の確保、保健・医療・福祉サービスの確保その他社会生活における条件が不利で振興が必要な地域
 （島根県中山間地域活性化基本条例）



警察船舶「せきれい」

- ◇ 「せきれい」(平成元年1月配備)
 定員 : 9名(船員2名、その他7名)
 重量 : 4.8トン
 尺度 : 全長7.95m、幅2.92m、
 深さ1.53m
 最高速度 : 30ノット

